

於大のみち基本計画案 【再会広場】

■施設計画方針

（１）集まり、広がる多様なレクリエーションの広場

於大のみちを活用した地域の祭りなど、既存の活動拠点としての役割をさらに発展させるため、遊歩道と一体的な舗装構成とし、開放的で広がりのある空間を確保します。
これにより利用可能なスペースが拡大するとともに、東西を結ぶ軸線とは異なる舗装パターンで一体的な空間表現を行うことで、空間を複数に分割し、町民活動や地域イベント、日常の憩い・健康づくりなど、多様な活動と各用途に合わせた利用を可能にする柔軟性を仕掛け、レクリエーション拠点としての機能向上を図ります。

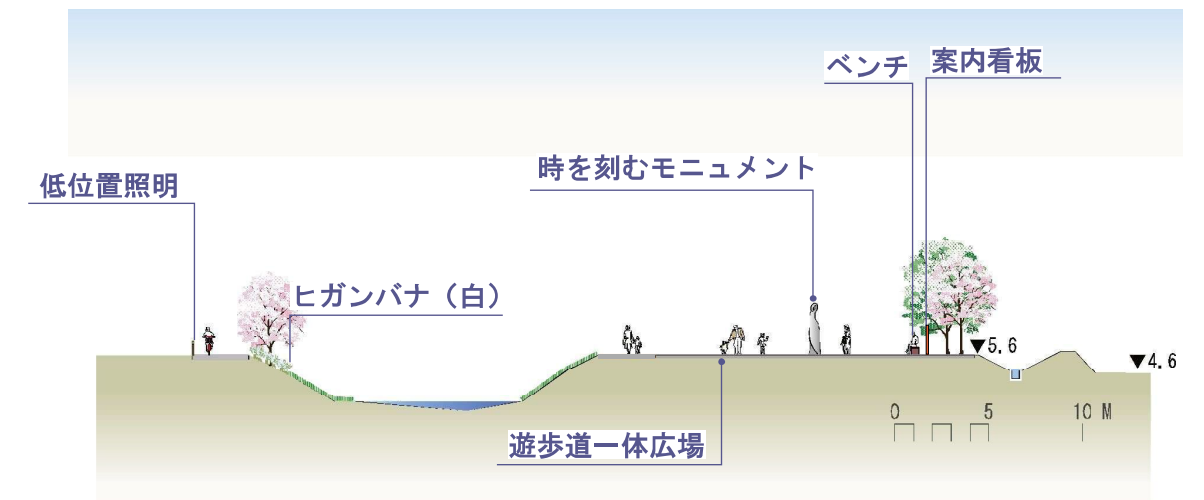
（２）象徴的な空間形成

遊歩道から自然的に広場内へ誘引するため、既存の歩行者動線を活かしながら大胆に広場内へ導く舗装デザインとします。
さらに、於大まつりの拠点であり「於大の方と家康の再会」として、再会広場が持つ象徴的な意味を舗装により表現し空間として体現します。

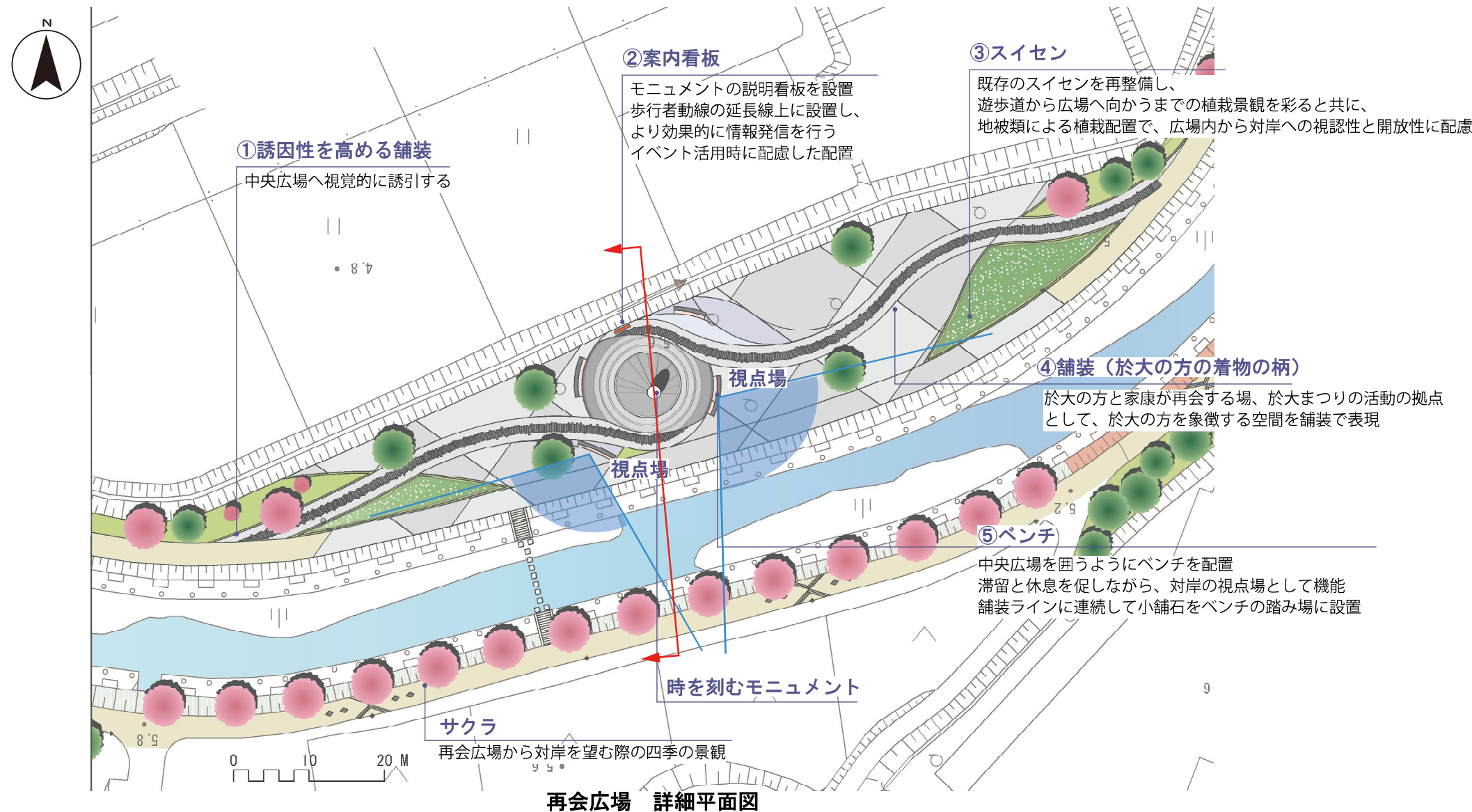
（３）滞留と休息の波及

東西から中央へ導く舗装ライン上や中央円形広場周辺にベンチを点在させ、歩行リズムの延長で休息と中央での滞留が自然に生まれるように計画します。

■再会広場断面図

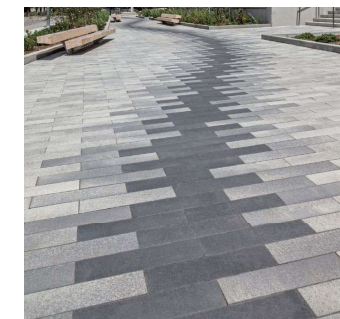


■再会広場平面図



■施設イメージ

①誘因性を高める舗装



②案内看板



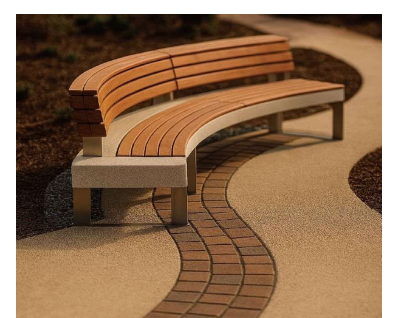
③スイセン



④舗装



⑤ベンチ



ベンチへ誘導するよう舗装ラインに連続して小舗石をベンチの踏み場に設置